



あさがおぐみだより

尚徳福祉会 日野保育園

2019年3月

梅の花も満開になり、陽射しの暖かさからも春を感じられるようになってきました。園庭や散歩先の公園では、上着も脱いで元気いっぱい走り回っている子どもたちです。進級を前に、年長さんの遊びに積極的に加わったり、年下のお友達との散歩では優しくリードしたりお手伝いをしたり…と、クラスの仲間だけでなく異年齢のお友達と楽しそうに関わる姿が多く見られます。あさがお組での残りわずかな時間を大切に…元気と笑顔いっぱいですごしていきたいと思います。

一年間でさまざまな遊びや活動を経験し、新しいことに挑戦できるようになったり、苦手なことが減ったり、得意なことや好きなことが増えたりと、子どもたちそれぞれが成長したと感じます。4月からは年長・ひまわり組!! いろいろなことに挑戦して、さらに心も身体も大きく成長することでしょう。そんな子どもたちを応援していきたいと思っています。

一年間、至らぬところもあったかと思いますが、温かく見守り、多大なご協力をいただき感謝しております。ありがとうございました!!



すてきなひなまつり♪

あさがお組では、不織布を使った着物をまとったひな飾りを作りました。紙とも布とも違う不織布の感触を楽しみながら着物のパーツを折っていき、組み合わせると…「なんだかお花みたいな着物だね〜❀」とうっとり♪色画用紙を切り貼りして作ったお顔も、優しい笑顔のものがあれば、力強い表情のものもあり!!子どもそれぞれの個性がキラリと光るひな飾りができました。保育室に飾ってある本物のお雛様と見比べながら、「あさがおさんが作ったお雛様のほうがすごく可愛いよね」と話し、大満足の子もたちです。



ひまわり組さん、ありがとう☆

3月15日は年長さんを送る『おわかれ会』があります。この会ではあさがお組が主体となって、準備や会の進行をしていくのです。「ひまわりさん、一年生になるんだもんね♪」「きっと、喜んでびっくりするよね!!」と、ひまわりさんに内緒で準備をすすめています。『卒園を祝う会』で卒園児が胸につけるコサージュ作りではツルツルとしたサテンの布を折るのに「形が崩れちゃうよ～」と苦戦する子もいましたが、心を込めて丁寧に作っていました。『ありがとう』と『おめでとう』の気持ちが伝わる、温かく楽しいおわかれ会にしたいと思います。

☆こどものつばやき☆

◎コマ回しをがんばっている子どもたち。

A ちゃん「すごいよ!!コマのトリプルアクセルみたいだったよ!!」

◎砂場で穴掘りをしていた時のこと。

保育者「温泉出てこないかな〜♪」

B ちゃん「あんまり掘りすぎないほうがいいよ。地球に穴があいちゃうから!!」

C くん「地球に行ってみたいなあ☆」
…宇宙のことかな?

◎調理体験で二ンジンの皮むきをし、翌日のカレーで、そのニンジンを食べました♪

D くん「これ、僕が皮むきたニンジンだよ!!
だって、ニンジンから僕の手のおい
がするもん」